

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

公立高校入試問題(小学校学力テスト)を

小学生風のアレンジ&子育てミニ講座第4回

～糟屋地区家庭教育支援チーム糟屋B（かすや子育て研究会かぶとむし～

平成30年11月17日(土)家庭教育支援チーム糟屋B・かぶとむし(コーディネーター 中村隆氏)による「公立高校入試問題(小学校学力テスト)を小学生風アレンジ&子育てミニ講座第4回」がサンレイくかすやにて開催されました。



まず、全国学力・学習状況調査のH31年度のサンプル問題と市販テストの2つを解いて比べてみました。比較的解きやすい市販テストに比べ、全国学力・学習状況調査は参加者も頭をひねっていました。自分で表現したり、グループで実体験をしたりする力を求められつつも、テストの紙面上における文字数の多さや本文と問題文の見分け方の難しさ等への対応の大変さが分かりました。

次に、国語の大学入試のイメージ問題にチャレンジしました。問題の解決には、自分の考えを言葉で説明する力や必要な資料を想定する力、またグループで話し合っ議論する力が必要であることが分かりました。論が通っていれば多様な答えを正解とする問題には、戸惑う参加者が多かったです。大学入試問題で求められる力は、これまで第1回からやってきた公立高校入試問題、そして小学校での学習状況調査へ貫くものであり、小学生のうちから体験を通して育てたい力だと考えます。

参加者は、「親世代の体験だけでは、子どもに合った選択肢を一緒に考えることはできない。親も学んでいかないといけない。」、「こういった研修を学級懇談会やPTA講演会などでやったらいいと思う。そうしないと、知っている家庭とそうでない家庭で二極化が大きくなる。」という感想をもっていました。